

金武町
教育委員会
広報

【第20号】



金武小学校総合訪問6月30日(水)



幼稚園の保育参観では施設が立派なだけでなく、先生方の園児たちに思う気持ちが感じられ「学習環境の整備のプロフェッショナルがいらっしゃるのでは」と感心されておられました。

小学校では気持ちいい挨拶で迎えられ、授業参観は学習課題からイメージしていたのとは違い、落ち着きが見られ授業態度が良かったとの評価をいただきました。

目次

各学校の取り組み	2
部活連絡会	4
町学校訪問	6
県外視察訪問	8
小4担当連絡会	9
沖縄県公民館表彰	10
平和学習「戦跡めぐり」	11
フェンシングいよいよ本番	12



中川小学校便り 『ながむつち』より

地区バレー大会準備優勝

5月22日(土)・23日(日)の両日にわたって開催されました琉球新報主催の北部地区小学生バレーボール大会で、中川クラブはよく健闘して準備優勝し、県大会の出場権を得ることができました。大会当日は、多くの父母や家族、学校職員が応援に来て下さいました。ありがとうございました。県大会でも活躍するものと思います。

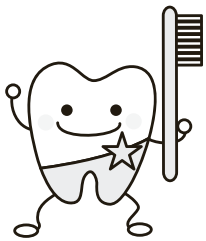


歯科検診…すべての面で 去年より良い結果

今年度の歯科医による検診が終了しました。その結果、全ての検診項目で昨年度よりかなり改善しました。

むし歯のない児童は11人(昨年度は6人・以下カッコ内は昨年度)、むし歯がある児童で治療済み41%(19%)、未治療50%(66%)、平均むし歯数1.7本(2.6本)、歯磨きについては、良好60%(30%)不良40%(70%)、歯周炎無し83%(61%)、歯周炎有り17%(34%)、歯周炎の要治療0%(5%)。

保健室による徹底した実技指導が功を奏したものと思います。家庭においても毎食後の歯磨きについて、声かけをお願いします。



金武小学校校長室便り 『陸塚同時』より

がんばりノートの活用状況

新学期スタートして約2ヶ月、学級における授業・生活も落ち着いてきました。6年生の委員会活動や朝の清掃活動も意欲的に取組が行われています。一方で家庭における家庭学習はどんな状況か「がんばりノート」の提出をまとめてみました。

月1冊をめどにし、年間10冊以上を目標設定してあります。集計結果を見ると4年生が3クラスとも見事に目標をクリアし3冊目が出始めています。他の学年においても3冊目を出している友達もいますがクラス全体としては昨年より少しペースが遅いようです。

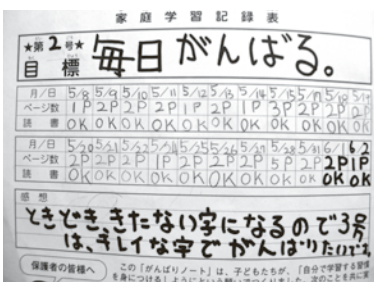
学級でも家庭学習の仕方・内容について再度指導しますが並行して家庭・部活でも学習時間

の確保・声かけ等の協力をお願いし同時に働きかけることで習慣化出来ればと考えています。

「メレホール・ジョアンナ・メイさん」

左記のがんばりノートの学習内容は学年に応じた、そして丁寧な字で空白も少なく大事に使われています。表紙裏の記録覧から目標にあるように家庭学習の日々の積み重ねが記録から見えてきます。合わせて読書も生活の一部として定着していることが素晴らしいと思います。

年々、内容が良く、丁寧な字でノートを使っている児童が増えてきました。良い例として校門アーチの掲示板に展示してありますのでご覧頂ければと思います



今回のがんばり努力賞

6月は新学期スタートから3ヶ月目になり、一月一冊を目安にすると3号目に取り組んでいる最中の友だちが多いと思います。今回はそれより少し早めに頑張った友だちがいます。目標をたて家庭学習に取り組み、丁寧な字で空白なくノートを大事に使った友だちです。



【22年6月16日現在(3号以上)】

学年	氏名(敬称略)
1年	6月からの取組になります
2年	仲間功也、漢那愛夢
3年	佐藤凜
4年	安富貴之、仲間優美、比嘉優斗 伊芸紹也、瑞慶山加野 仲間功太、大城俊将
5年	仲間彩梨
6年	宮城梨穂(3) 金城さくら(3) 比嘉涼(3)

嘉芸小学校便り

「がんばるねわ」より

反復学習ですべての子どもたちに確かな学力を！

学校教育の目標は、子ども達一人ひとりに自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく課題を解決する資質や能力。 「生きる力」をつけることである。 まずは、基礎学力をしっかりと身につけさせよう！

基礎学力とは、読み・書き・計算に代表される、すべての学習を成立させる上で必須の基礎的な知識・技能である。それが身についていなければ、学習指導要領に示されている各学年の各教科等の目標・内容等を履修することはできない。であれば、一人ひとりの子どもたちが社会に出て自分らしく輝きながら生きていく「生きる力」を身につけることは、困難である。子ども達の願う夢を実現できる資質を最大限に育みたい！

子どもたち、一人ひとりを輝かせたい!!

そのような折り、お隣の宜野座村で取り組まれている反復学習が大きな成果をあげていることをしり、本校でも、反復学習の導入をしています。金武町教育委員会でもその成果に着目し、校長会での参観、教職員の参観と松田小に足を運び、本町での導入を模索しています。

二月二十四日には、反復学習の提唱者である陰山先生と共同で実践を深めた大阪樟蔭女子大学の小河勝先生をお招きして、金武町内三つの小学生に反復学習の実際についてお話していただきました。反復学習では、教室にパソコンとプロジェクトアがある効果が増大するのですが、教育委員会では、

その環境も見事に整えることができました。各教室にパソコン二台と電子黒板を設置してくださいました。これで、テレビとプロジェクトアと情報通信技術(ICT)の活用が各教室に於いて豊かに実践でき、反復学習



ばかりでなく日々の学習指導にも良い効果が期待されまます。

おめでとう地区大会準優勝!

五月二十二・二十三の両日二十世紀の森体育館で十六チームのリーグ戦で準優勝に輝きました。六月十九日にうるま市総合体育館で全県の戦いがあります。応援してください。



「右よし、左よし、もう一度」

「右よし、左よし、もう一度 右よし、出発します」

4月16日には、幼稚園生と一年生はふれあい室で、腹話術さんの「こうちゃん（人形）」と交通安全のきまりを学んで実際に横断歩道で正しいわたり方を学びました。2年以上の皆さんは、体育館で正しい自転車の乗り方を、学校に自転車を持ってきてくれたお友達の前で指導を見ながら学びました。学んだことを生かして安全な毎日が過ごせるように。ご指導くださった石川警察署の皆様ありがとうございました。



運動部活動指導者連絡会

趣旨『町内の小学校児童を対象とするスポーツ指導者を集い、指導の諸問題に対し意見を交換し、相互の連携強化と町内児童の指導の充実を図る』という趣旨のもと、連絡会が開催されました。

教育長は挨拶の中で、町内児童は体力面で全国平均を上回る成果を残しており、これも指導者のお陰と感謝しておりました。しかし、文武両道がより良いあり方と考え、昨年同様、健全育成とサマースクールの実施に向けて、指導者の理解と協力をお願いしますと述べられておりました。続く金武小学校校長先生は、「知・徳・体バランスのとれた児童の育成を念頭においている中で、知は厳しい現実を示しているが、これは、能力の無さではなく生活習慣や学習習慣が起因している、そのことは、大人たちの責任である。部活を通してメリットを増やし、デメリット

を減らすよう大人のみならず考えていきましょう。」と話されておりました。

各学校単位の情報交換から

金武小学校

- 夏休み中は活動の活動が多く、6時半終了は厳しい。7時には下校できるようにしたい。
- 季節によって終了時間の変更を検討した方がよい。日暮れの早い季節は安全面の配慮を。
- 高学年の担任との交流会を持つて欲しい。
- 大会日程等年間計画ができること、日程の調整や協力体制が築きやすい。
- 学校便り等で、部活のきまり等学校で統一したものがあれば共通理解が図られ、足並みの揃った指導がしやすい。メールアドレスも載せた方がよい。

嘉芸小学校

- 父母会は交代で練習を見守っている。
- 他校と合同チームを作り試合に出られるようにし、目標を持たせ励みになればよい。
- 低学年は授業が早く終わるので、高学年の終了を待っている間宿題等をやらせている。
- 大会日程等学校へ知らせれば先生方が応援に来られる。子どもたちもはりきる。協力や連携が図られる。
- 学校の居残りで部活を後れる子は、「学校での取組みがちゃんとしてないから」と捉え指導者からは注意して下さっている。
- 中川小学校の子が入部（サッカー部）しているが、送迎の間帯が気になる。



平成22年度町教育委員会学校訪問

趣旨 町教育委員会では、町内の幼稚園及び小・中学校を直接訪問して学校経営等の諸問題について懇談し、相互の連携強化と今後における学校教育の推進と充実に資する。

今年度も、金武町教育委員会は上記の趣旨を踏まえて町内各幼稚園・小学校を訪問しました。



小学校は6月中で訪問を終え、中学校は2学期に予定しております。

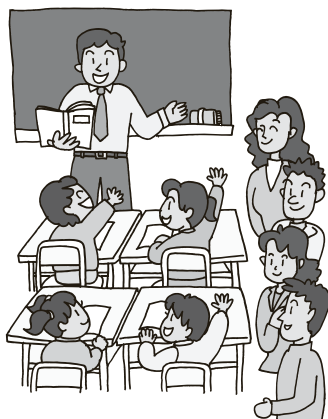
3幼稚園・小学校とも、最初は保育参観から始まり、小学校の授業参観、次に学校からの諸説明〈経営方針・学校の現状・取組・学力向上対策等〉という流れでした。

教育基本法第11条に「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである」と規定されています。保育参観では、屈託のない園児たちは元氣な挨拶で私たちを迎え入れてくれました。造形活動では感性や情操が磨かれ、得意げに乗って見せる竹馬では運動機能が養われ、ままごとなどグループでの遊びを通じた協同体験等、正に人格形成の基礎を培って

る保育を参観することができました。

小学校の授業参観では、今年度電子黒板が全教室に導入されたこともあり、殆どの学級で電子黒板を活用した授業を参観することが出来ました。電子黒板活用による効率の良い授業の展開によって、児童たちの活気があり自信に満ちあふれた授業態度には圧倒されました。電子黒板導入が負担になるのではなく、積極に取り入れて、授業の充実につなげている先生方の姿勢が頼もしく映りました。家庭学習や生活習慣等々、種々の課題はありますが今までより、多くの児童が自信を持って臨める授業が徐々に増えてきていることは、課題の改善に寄与するものと考えています。

今年度、町内各校で反復学習を計画推進している過程で、授業に臨む姿勢が良くなったことや授業に活気がでてきた等の効果を先生方は実感し、今後の展望に期待を寄せていることが、学校側の説明から感じ取られました。より多くの児童が学校に通うのが楽しみで安心して過ごせる学校作りに、教育委員会としても支援していきたいと思えます。



平成22年度



町教育委員会学校訪問



【6月2日 中川幼稚園・小学校】



『造形遊び』：単元名「虫さんのかくれんぼう」幼稚園 指導者：奥間直美先生



ビオトープや園庭を視察



説明会「経営方針・学校の現状・取組等」

【6月8日 金武幼稚園・小学校】



単元名「けむりのきしゃ」1-3 授業者：金武郁子先生



単元名「変わり方を見やすく表そう」4-2 授業者：安村真美先生



单元名「変わり方を見やすく表そう」6-1 授業者：宮城 敬先生

【6月18日 嘉芸幼稚園・小学校】



「基礎基本反復学習」3年生 授業者：高崎寿子



説明会「経営方針・学校の現状・取組等」

学校の説明に聞き入る教育委員の方々



山口県山陽小野田市小学校・中学校訪問視察研修報告Ⅱ

※モデル学習の例▼単位時間(45分を分割し、基礎基本の学習を行う)。

■1日目 平成22年5月17日(月)

山陽小野田市教育委員会訪問

教育政策室長より山陽小野田市立小・中学校の現況からモジュール学習の取組にいたるまでの概略説明がございました。そこで配られた冊子の表紙をみると、『生活改善・学力向上プロジェクト』というなにやら大層なみだしが目に入りました。

教育長の江澤正思氏が自らまとめられたのだとの説明でした。教育長は陰山英男先生の提唱している、『基礎・基本の徹底反復をはじめとする『陰山メソッド(方式)』が、こどもたちの「やる気」と「これから」をひきだしている』に以前から感心をもっておられたようである。『生活改善・学力向上プロジェクト』を立ち上げ、市内全小学校児童を対象に「生活実態アンケート」と「知能・学力検査」を行い、その結果から明らかにになった「生活習慣」と「子ども」の学力との関係について、大

学で物理を教えておられた先生らしく実証的なまとめになっており、素晴らしい資料を手にすることが出来ました。

教育長の音頭により、小野田市教育委員会は脳の前頭前野(意志の決定・記憶・意識・注意の集中等々人としての理性を司る)に着目し、前頭前野を鍛えることにより子どもが飛躍的に成長する仕組みを、家庭・学校がそれぞれ役割を分担することによりつくりあげようと平成18年度に上記のプロジェクトをスタートしたそうです。音読、計算を中心とした反復学習の取組ということで、学校現場からの反発もあつたようですが、半年後には集中力が伸びたそうです。

集中力は、学力のみならず、総合的な力を伸ばす大事な要素であるとおもいます。次は、教育委員会の方からの説明について、箇条書きに述べたいと思います。

●小学校と中学校では文化が違う。

小学校は学級担任がほぼ全教科を教えるので、かゆいところへ手が届くような児童への支援ができるが、中学校は教科制なので生徒との密接度が小学校の学級担任程なく、生徒一人一人の把握に不利なところがあるのではないか。

●反復学習は小学校から中学校へのつながりが大切である。

本県は全国学力・学習状況調査のB問題(活用問題)に課題があるが、反復学習で基礎基本をしっかりとらせていけば、授業の準備として有益なことであり、活用力向上につながると思つている。

●反復学習は、100マス計算など取り組みやすいので全員が参加しやすく、遅れてくる生徒が減ってきた。落ち着いてきた等々の効果がでてきた。

反復学習について、小学校の先生は身体全体を使って児童をう



まくりードしている。

中学校の先生は全体的に声が小さいのが気になる。

●音読指導は、大きい声で読んでリードしながら、児童・生徒の様子を把握し個別支援やグループ分け等の工夫した展開が出来るようになること。

幼稚園では、小学校入学に備えて基本的(集団規律や身の回りの準備片付け等)なことを指導して送り出しているが、「小学校では子ども扱いしているので」という不安や不満を抱いているようである。幼・小の先生に広報等で啓発している。



平成22年度第1回小4担当連絡会

小学校高学年（4年・5年・6年）

それぞれの学年における取組による成果や課題の分析や検討を重ね、系統的な取組計画を立て推進し、より良い成果を残して中学校に繋げるようと考え、小4担当連絡会を開催し、次のような報告などがありました。

- 家庭の事情で7割近くが宿題や家庭学習等が充分出来ていない実態を捉え、学校で補習等を行っている事で親から感謝されている。
- 百マス計算等の反復学習で習熟度が良くなった。
- 指導法改善担当とのTT授業で一緒に組んでいる先生方は、電子黒板活用力が向上し授業の充実発展に繋がっている。
- 日記指導で全行を埋めさせるなど、根気の要る取組ではあるが徐々に成果が見えてきた。
- 既習問題やレディネス（準備）問題等を活用し、授業の中で課題を克服できるように指導して

いる。

● 文章を最後まで読めない児童には、読みきらせる指導で何につまづいているのか、何が読めているのか個々の課題を分析し指導に活かしている。

● かけ算で指を使っている児童がいる。毎日電子黒板活用で課題克服を図っている。

● 問題用紙と回答用紙の違いが分からない。慣れてない。課題克服のため問題作りを工夫する。児童みんなでテスト問題について考えさせ課題解決を図る。

同じ小4担当という連帯意識で意義のある時間を持つことが出来ました。先生方から次はいつですか、出来れば早く開催して欲しいとの要望がでるなど、意欲が感じられ、当初11月の予定を夏休み中に開催するために日程を調整しているところです。

夏季休業中の過ごし方

今までは学校生活を基本にした生活でした。この生活から「解き放たれた」...

さて、幼児・児童・生徒その気分を持って夏休みをどう過ごしますか。ご家族はどのように過ごされますか。



【有意義な夏休みにするために】

- これまでの学習を振り返り、苦手分野を克服する。得意分野を更に伸ばす良い機会です。夏休みの計画をしっかりと立てましょう。
- 夏休みだからできる自然体験やボランティア活動等を通して、地域社会へ積極的に参加し、社会の一員としての自覚と地域社会への感心を持つようにしましょう。



- 家族の一員として、手伝いなど自分が出来る役割を果たし、認められる子。信頼される子になりましょう。

【事件・事故の防止と安全のために】

- 夏休みは不注意による水難事故や交通事故。誘惑による飲酒や喫煙。携帯電話等の通信機器の使用等によるネット被害、深夜はいかいそれと無断外泊等による被害（性被害等）がよく起きます。これらの事柄は命や一生に関わる大きな事です。保護者は目的、同行者、帰宅時間等を確認しましょう。
- 不規則な生活が生活の乱れや事件・事故に巻き込まれる場合が多いです。子どもたちが規則正しい生活を送れるよう、家族全員で協力しましょう。夏休みを終え、始業式には黒く日焼けした友達と会い、楽しい夏休みの思い出話が変わるようしましょう。

平成22年度 沖縄県公民館 連絡協議会優良職員、功労者表彰式

■金武町から2名(池原政文前伊芸地区公民館長、仲間正直金武町立中央公民館長)

平成22年6月2日(水)、豊見城市立中央公民館で沖縄県公民館連絡協議会優良職員、功労者表彰式が行われました。

優良職員表彰者に、地区公民館長として12年勤続した池原政文氏(前伊芸地区公民館長)、

功労者表彰者に沖縄県公民館連絡協議会副会長として尽力した仲間正直氏(金武町立中央公民



県公民館連絡協議会会長より表彰される池原政文氏

この表彰は、県内の公民館職員として公民館活動に従事し、公民館の整備充実に貢献、地域社会の振興等に尽力した人に贈られるものです。

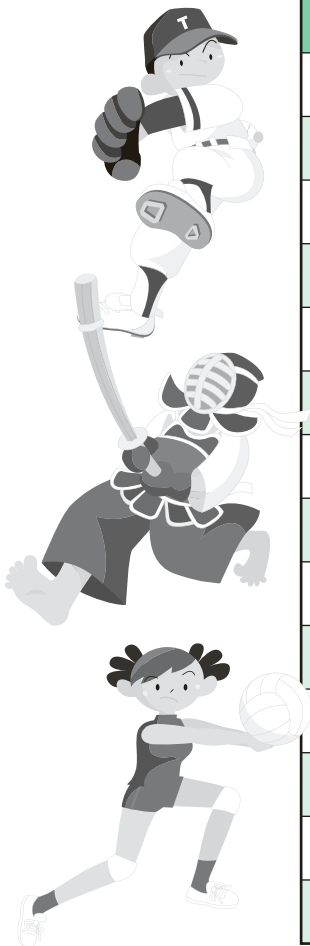
両氏とも、多大に公民館活動に貢献され、地域住民との関わりを大事にしてきた功績が評価されました。



県公民館連絡協議会会長より表彰される仲間正直氏

国頭地区中体連夏季総体結果一覧

部名	金武中学校大会結果
野球	2回戦敗退
サッカー	2回戦敗退
男子バレー	優勝
女子バレー	3位
男子バスケ	1回戦敗退
女子バスケ	1回戦敗退
男子卓球	予選リーグ敗退
女子卓球	予選リーグ敗退 個人戦県大会出場 渡嘉敷有希子(ベスト8)
女子ソフトテニス	1回戦敗退
男子ソフトテニス	1回戦敗退
剣道男子	団体準優勝 個人戦県大会出場 西平智輝(ベスト6) 団体準優勝
剣道女子	個人3位 金城未和・具志堅有希 6位 仲間ももこ
柔道	地区大会なし(県大会出場)
空手	団体組み手・型 初戦敗退 個人型 吉野大地(ベスト8)

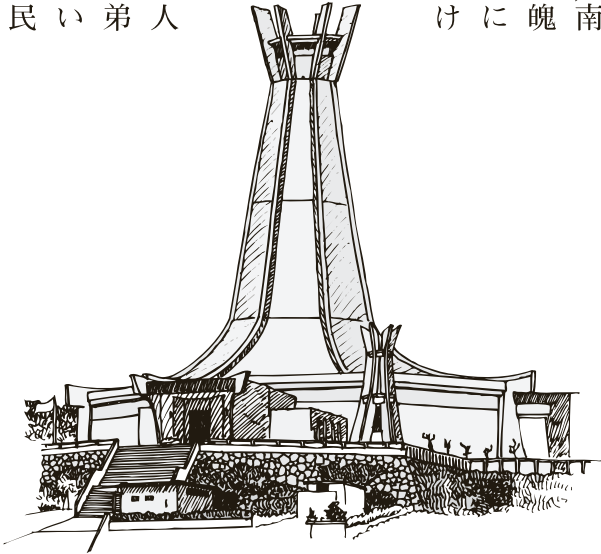


金武町公民館連絡協議会による 平和学習・沖縄戦「戦跡めぐり」

金武町公民館連絡協議会では慰霊の日を前に、戦争の悲惨さと平和であることの大切さを学ぶことを目的に6月12日に平和学習を開催しました。金武町内の小学生5・6年生を対象として30名の参加者が集まりました。

町内の戦跡地を始め、当時米軍が上陸した本島中南部西海岸（北谷町）、さらに北方の嘉数高台（宜野湾市）、南風原陸軍病院跡（南風原町）、糸数壕（南城市）、魂魄の塔（糸満市）へ移動し、実際に現場を見て、ガイドの説明をうけながら当時の追体験をしました。

初めて参加する児童から「二度と戦争はいやです。平和で生活できる私たちは幸せです。」その頃と同じ年代の人達は、食べるものもなく、親兄弟とも離れ大変つらい思いをしている。」等戦争で苦しめられた県民



の感情、戦争の悲惨さを理解した意見を述べていました。

毎年、金武町では五地区公民館主事、中央公民館主事で企画・実施している事業で、今後も沖縄戦の歴史を忘れさせない為にも、次世代へ継承していく構えで取り組んでいます。



嘉数高台（宜野湾市）で説明を受ける児童たち



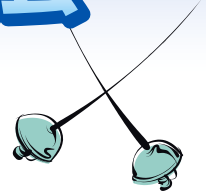
糸数壕（南城市）へ入壕（追体験）前の児童たち





平成22年度

全国高等学校総合体育大会 フェンシング競技大会



いよいよ本番間近!



昨年の九州大会の様子(金武町)



昨年の全国大会の様子(奈良県)

いよいよ、全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会が7月28日(水)から行われます。初めて沖縄県で開催されることから、フェンシング競技の華麗な剣さばきをご覧下さい。全国から約1000人の選手、役員、応援団が来町します。ぜひ会場で観戦し大きな声援で大会を盛り上げていただきたいと思います。

期日	開始時間	内容	場所
平成22年7月28日(水)	16時	開会式	金武町立中央公民館
29日(木)	9時	競技	金武町立体育館
30日(金)	9時	競技	金武町立体育館
31日(土)	9時	競技	金武町立体育館
8月 1日(日)	9時	競技・閉会式	金武町立体育館



サギゾーキ

民具の紹介②

サギゾーキ

梅雨があけて太陽が照りつける夏が来ましたね。今回紹介するのは食料保存に使われたサギゾーキです。昔は冷蔵庫なんて便利なものはありませんから、このサギゾーキに食べ物を入れて、庭の木陰に吊り下げていました。蓋をしつかり閉めればハエは入らず、竹を編んで作られているため、隙間からは空気が流れるので食べ物が長持ちし、吊るすことで蟻や虫がつかないという利点がありました。

編集後記

全国高校総体フェンシングの競技会場である金武町立体育館も受け入れ態勢が整いつつあります。

花一杯の環境作りや各学校からの応援メッセージが書かれたのぼり旗を立てて、歓迎ムードを上げていきます。全国トップクラスの高校生が集い競う姿を目の当たりに出来る機会は、後何十年後でしょうか。試合前の身体作りや準備等試合に臨む姿勢を見学するのも価値があると思いますよ。

行事日程変更のお知らせ

「平成22年度 社会教関係行事予定表」の中で「サバニ体験(ハーリー大会)」を下記のとおり変更いたします。

7月18日(日)



7月17日(土)

ご了承くださいませようよろしくお願いします。